

教育に新聞を！

JiSEKEN
×
EBiDAN僕たちがやりました
東京新聞NIE特別授業
第2回中高生編・第3回家庭編

新聞を学習の教材として活用する「NIE (Newspaper In Education)」を、東京新聞若手組織「次世代研究所 (JiSEKEN)」と若者に大人気の男性若手アーティスト集団「EBiDAN (恵比須学園男子部)」がタッグを組んでPR。東京新聞NIE特別授業の第2・3弾は「中高生編」と「家庭編」です。

家庭編では、新聞記事を相手のために切り抜いてプレゼントする『切り抜きリレー』を考案。DISH//メンバーが楽しく取り組み、新聞の新しい魅力を発見しました。

ボーイズグループ×新聞の異色のコラボにSNSでも話題となり、第1～3回を通じて彼らのファンを中心に中高生の間にもNIEが伝播したと実感しています。

これからも将来の読者獲得につながる企画を続けていきたい。(東京本社広告一部/家田良二)

2017年6月25日 東京新聞朝刊
「第2回中高生編」
自分自身が興味を持った記事の
“切り抜き新聞”制作

2017年7月17日 東京新聞朝刊
「第3回家庭編」
相手に関心を示しそうな記事を切り抜き
家庭でも試せる“記事の切り抜きリレー”

読者の声/ご家庭で実践している、またはやってみたい「NIE」(新聞活用方法)

- ・興味がある記事の切り抜きはするのですが、活用するのはなかなか難しいです。(女性60代)
- ・切り抜きは時々しているが、リレーというかたちは新しい気がします。(女性60代)
- ・新聞は大切な情報源。世の中やその仕組みを知らずに社会に出ることのないよう、教育に生かしてほしい。(男性40代)
- ・文字を読まない。文字が書けない。文字を楽しまない世代がスマホだけに頼る光景に危機感を覚えます。加えて彼等の満足な会話さえ成立しない昨今、NIEに期待致します。(男性60代)
- ・仲間とやってみたい。(男性60代)
- ・若者の新聞離れが進んでいるので、企画が大いに役立つと思う。(男性60代)

J-MONITOR 調査より